

みなさまの保険情報

INSURANCE INFORMATION

TOPIC

ドライブレコーダーの今

(株)審調社 業務部課長代理 兼 交通事故解析グループ 交通事故解析士 森澤 三郎

～ドライブレコーダーについて知ろう!!～

ドライブレコーダー（略してDR）は、車のフロントガラスなどに取り付ける映像記録装置で、交通事故が起きた時に心強い目撃者となります。あおり運転など走行中のトラブルの抑制や解決にも効果があります。既に使っている人もまだ使っていない人も、DRをもっと良く知って安全・安心のカーライフをお送りください。



多機能化し、防犯カメラ的存在に！

■DRとは

車に常設する小さなビデオカメラと考えれば良いでしょう。以前は車に衝撃があった時だけ撮影していましたが、今はエンジン始動から停止まで撮影し続ける常時記録が主流です。また、GPS内蔵で場所・時刻・車速が記録される機種も増え、車の周りで起きた出来事を記録しておく「防犯カメラ」的存在になりました。

在になりました。

また近年は、前と後を両方撮影する2カメラ式や、エンジン停止後も撮影を続ける駐車監視機能、更には他車への接近や車線逸脱を警告する機能を持つ機種もあります。年々高画質になっており、ドライブ中の風景を記録する目的で購入する人もいます。

品質重視で購入し、説明書の事項を守って使用しよう！

■DR選択・使用時の注意点

DRを取付けても、いざという時に映像が撮れていなければ意味がありません。購入にあたっては品質重視で選ぶことをお勧めします。また次のような理由で事故が写っていないこともあります。

- ①知らぬ間にDRが動いてよそを向いていた
- ②事故の衝撃で外れた
- ③メモリーカードを破損または紛失した

DRの映像は「メモリーカード」に記録されることが多いのですが、これには「書き込み可能回数」という寿命があって、DRはデジカメ等に比べて数十倍から数百倍の回数の書き込みを行うので寿命が早く尽きます。DRの取付けと使用に関しては我流を通さず、説明書に書いてある注意事項を必ず守りましょう。

DRは自分の行動も撮影します。正しい運転を心がけましょう！



■DRとの付き合い方

DRは相手だけでなく自分の動きも撮影するので、安全運転をしていないとそのままだの姿が録画されてしまいます。

また、DRを付けているのは自分だけではありません。既に国内の車の二割以上がDRを付けていると言われていています。一歩外に出たら自分の行動は常に誰かに記録されていることも肝に銘じなければなりません。



「あおり運転」とは？ 前方を走行する車に対して異常接近し、追い回したり、ハイビーム、クラクションなどによって相手を威嚇・嫌がらせなどを行う行為で、危険運転の1つに分類されます。